

プログラム

9:00～ 開会の挨拶 大久保 良峻 (早稲田大学)
挨拶・法話 寧波仏教と七塔禪寺 釈 可祥 (七塔禪寺 住持)

(以下、発表 15 分・質疑 5 分)

9:30～12:00

- ①『嘉興藏』と『龍舒浄土文』の一考察 王 芳 (台湾中央研究院中国文哲研究所)
- ②『梵網経』における孝順思想の再検討 胡 建明 (早稲田大学・院)
- ③北伝仏教の禅法における円教の特質について
—智者大師説『釈禪波羅蜜』を通して— 劉 鹿鳴 (南京大学)
- ④漢字文化圏における信仰と儀礼の一齣
—韓国の甘露幀画をめぐる— 池 美玲 (韓国藝術綜合大学)
- ⑤道宣の円教と戒体思想 Thomas Newhall (東京大学・院)
- ⑥初唐の異国僧—長耳三蔵とその周辺— 櫻井 唯 (早稲田大学・院)
- ⑦宋代天台における自行と化他の問題 久保田 正宏 (早稲田大学・院)

12:00～13:00 昼食休憩

13:00～15:10

- ⑧山外派による修性離合義の解釈 弓場 苗生子 (天台宗典編纂所)
- ⑨鎮源の見た源信—『法華験記』第八三話「楞嚴院源信僧都」を中心に—
岡田 文弘 (東京大学・院)
- ⑩『法華験記』と女性 市岡 聡 (名古屋市立大学)
- ⑪九品往生と九品中正制度の関係 佐伯 憲洋 (早稲田大学・院)
- ⑫珍海が定義する「信心決定義」と中国諸師の思想
成瀬 隆順 (早稲田大学・院)
- ⑬知足著『靈山奇賞』における中国思想の引用
庵谷 行遠 (早稲田大学・院)

15:10～15:30 休憩

15:30～16:30

- ⑭最澄の末法観 柴田 憲良 (名古屋市立大学)
- ⑮東密における三種悉地の解釈について 大鹿 眞央 (早稲田大学)
- ⑯聖の原義と表象 佐藤 文子 (佛教大学)

17:30～ 交流会

多分野複合の視角から見た日本仏教の国際的研究 国際シンポジウム「漢字文化と仏教」

七塔禪寺(中華人民共和国浙江省寧波市江東区)
二〇一六年十一月二十六日(土) 九時～十六時三十分



《問い合わせ先》: 〒162-8644 東京都新宿区戸山 1-24-1 早稲田大学文学学術院 大久保(良)研究室 03-5286-3688

《主催》: 日本学術振興会科学研究費補助金による基盤研究 (A)「多分野複合の視角から見た日本仏教の国際的研究」(代表: 大久保 良峻)

<http://international-study-buddhism.webnode.jp/>